



厳しい寒さの中にも、次第に春の足音が感じられる頃…

「一月往ぬる二月逃げる三月去る」と言われるとおり、この時期は特に時の経過の早さを感じます。つい先日お正月を迎えたと思ったら、もう2月です…。2月4日は暦の上では春を迎える「立春」、その前日3日は「節分」です。邪気除けの柊翫（柊《ひいらぎ》の小枝に翫《いわし》の頭を刺して門口に挿したもの）を飾り、「福は内、鬼は外」と声を出しながら福豆（炒り大豆）を撒いて、年齢の数だけ（もしくは1つ多く）豆を食べて厄除けを行うのが恒例行事です、という御家庭もあることでしょう。1月20日の「大寒」からこの時期にかけては寒さのピークを迎え、空気が乾燥した状態が続いています。感染症に罹患しないよう、手洗い・うがいを励行し、生活リズム・健康の維持に気をつけてください。



さて、3年次生は、1月13、14日の大学入学共通テストを終え、出願締め切りが2日に迫った国公立大学2次試験受験校の検討・決定、2月にピークを迎える私立大学一般入試の受験、そして2月25日からの国公立大学2次試験受験に向けて、まさに受験真っ只中の状況です。自己としっかり向き合い、真剣勝負で闘っています。3年次生には、自分自身を信じ、これまでの努力を自信にかえて、進路目標実現に向けて精一杯取り組んでもらいたいですね。どんな逆境にあっても、最後まであきらめずに踏ん張るのが西高生。そんな先輩たちの後ろ姿をよく見ておいてほしいものです。次は、いよいよ皆さんの番なのです。

【2月行事予定】

A：A週 B：B週 行：学校行事 を表します

日	曜	A/B	予 定
1	木		前期募集選抜検査（生徒は家庭学習日）
2	金		前期募集選抜検査（生徒は家庭学習日）
3	土		土曜講座（1,2年）
4	日		
5	月	B	きすなの日、マレーシア語学留学第2回保護者説明会
6	火	B	
7	水	B	3年登校日
8	木	B	
9	金	B	大学入学共通テスト模試（2年）
10	土		大学入学共通テスト模試（2年）
11	日		建国記念の日
12	月		振替休日
13	火	A	
14	水	A	3年登校日
15	木	A	第4回定期試験時間割発表

日	曜	A/B	予 定
16	金	A	
17	土		
18	日		
19	月	B	きすなの日、第3回生活実態調査（1,2年）
20	火	B	
21	水	B	3年登校日
22	木	行	第4回定期試験
23	金		天皇誕生日
24	土		
25	日		
26	月	行	第4回定期試験
27	火	行	第4回定期試験
28	水	行	第4回定期試験、3年登校日、大掃除
29	木	行	表彰式、卒業式予行、同窓会入会式

保護者のみなさまへ

まだまだ寒い日々が続いておりますが、御多忙のところ三者懇談のために御来校いただき、誠にありがとうございました。この三者懇談を通じて、生徒たちもより一層3年次へ向けての目的意識を高められたのではないかと思います。進路及び具体的な進学校の決定に至るまでには、紆余曲折が予想されます。担任、進路指導係を中心に年次一丸となって生徒への対応をしていきますが、御家庭での話し合いの時間も今まで以上に増やしていただきたいと思います。「生徒自身に任せる」という御家庭もあるかとは思いますが、生徒への精神的な支援および経済的な支援など「受験生の保護者」としての側面も大切になってくると思いますので、さらに御家庭との連携を深めていきたいと思っております。

◎2年次職員からの寄稿を紹介します。4組担任 長谷川 拓 先生からです。

「七五三」

七五三（しちごさん）とは日本に古くからある伝統行事の一つで、みなさんもお存じかと思います。それでは「教育七五三」という言葉はどうでしょうか。

大学の頃、理科教育の授業で「小学校では理科が好きな子どもが7割もいるのに、中学校になると5割に減り、高校のときには3割になってしまいます。これが七五三問題です。」と言っていました。（理科に限らず学校教育全体という意味で当初は用いられていたようですが。）そのときは「へえ～」くらいにしか思っていませんでした。

さて、現在教員となり化学を教えていて「あなたの授業はどうですか?」「理科好きを増やせていますか?」と質問されたら、ドキッとしてしまいます。（私も七五三問題を助長しているのではないかと...）化学は物質を対象としており、世界は物質からできています。多種多様な物質を生活に利用しており、私たちの暮らしと化学は隣りあわせです。授業をきっかけに「あっ化学って面白い!」と感じる瞬間をもってもらえたら、私としては最高です。

今の私があるのも、理科や化学の面白さに触れる授業をしてくださった多くの先生方のおかげです。今度は自身が化学の面白さをできる限り伝え、少しでも化学が「好き」さらには「大好き」と答えてくれる人が増えるようにと、勝手に使命を感じています。

最後に一つだけお願いがあります。私のことは嫌いでも、化学のことは嫌いにならないでください。



◎続いて4組副担任 清水 壽仁 先生からです。

モンスターと戦う歌

「肥大したモンスターの頭を 隠し持った散弾銃で仕留める 今度こそ 躊躇などせずに その引き金を引きたい」これは Mr.Children の曲「Starting Over」の歌い出しです。結構前ですが、映画「バケモノの子」の主題歌と言われればわかる人がいるかもです。インパクトのある衝撃的な歌詞だと思いませんか?このような詞で始まる曲は、そうそうないのではと思います。「あいつの正体は虚栄心? 失敗を恐れる恐怖心? 持ち上げられ 浮き足立って 膨れ上がった自尊心? さあ 乱れた呼吸を整え 指先に意識を集めていく」と続きます。なんとなく伝えたいことがわかってきます。そして、「僕だけが行ける世界で銃声が轟く 眩い 儚い 閃光が駆けていった『何かが終わり また何かが始まるんだ』 そう きっとその光は僕にそう叫んでる」と続いて1番の歌詞は終わりです。1番だけ見ても、頭でっかちで見栄っ張りな自分を認められない自分、失敗を恐れてなかなか前へ進めない自分、今までの栄光を忘れられず、くだらないプライドに縛られる自分(など、総じて自分の中に生まれる負の感情のことだと思いますが)、そんな自分の中に現れてくるモンスターと戦うことで前へ進めるんだという強い意志を感じます。(清水の解釈ですが、大体合ってると思うのですがどうでしょうか。)

その後の歌詞も、繰り返し現れてくる自分の中のモンスターと戦い続ける中で少しずつ先に進んでいく、そんな始まりと終わりの連続、人生は一生自分との戦いである、そんなことを歌った曲です。初めて聴いたとき、鳥肌が立ちました。感動しました。曲の中でも特に好きな部分があって、それは2番の出し「追いつめたモンスターの目の奥に 孤独と純粋さを見付ける 捨てられた子猫みたいに 身体を丸め怯えてる」の部分。どうしてかということ、強そうに見える(実際は強がっているのかな)モンスターの弱い部分が透けて見える表現で、人間誰しもが持っている二面性を思い出させられ、人間らしさというか人間臭さを感じることができるからです。Mr.Childrenにはこういう人間臭さを感じる曲が多いというのが、清水がずっとミスチル好きである所以でもあります。

人の中に強さや弱さや矛盾は同居しているものだと思います。ただ、それと向き合いそれとともに前に進んでいくことが大切なのではと思っています。よければ聴いてみてくださいね。